

作成年月日：2026 年 2 月 9 日

Ver.2

項目	説明	
試料・情報の 利用目的 及び 利用方法	研究課題名	甲状腺癌の治療、予後、効果予測因子に関する観察研究
	研究対象者	2008 年 1 月 1 日から 2027 年 12 月 31 日に当院で治療を受けた甲状腺癌などの内分泌腫瘍の患者さんのうち、当センターの医学研究に関する包括的同意が得られている方。
	研究目的	当院における甲状腺癌などの内分泌腫瘍に対する手術治療、放射性ヨード内用療法、分子標的治療薬などの薬物治療後の無再発生存期間や再発率、予後の調査を行い、効果予測因子や治療効果について検討を行う。
	研究方法	診療記録、病院診療科統合データベースを用いて、各患者の患者背景、予後について調査する。また、既存の臨床検査データ、病理検体を用いて予後予測因子について検討する。
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号（識別コード）で管理します。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、パスワードロックや鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	西 暦 2 0 2 1 年 1 0 月 1 1 日 ~ 西 暦 2 0 2 8 年 3 月 3 1 日
	利用又は提供を開始する時期	[X]総長が研究実施を許可した日 []西暦 年 月 日頃（研究の進捗によって前後いたします）
利用する試料・情報の項目（チェック[X]が入った項目を利用します）	[X]試料:	[X]血漿、[X]血清、[X]全血、[X]末梢血から抽出した DNA、 [X]病理検体(具体的に記載:甲状腺癌手術検体)、 []尿、[]糞便、[]唾液、[]胸水、[]腹水、[]脳脊髄液、 []毛髪、[]その他(具体的に記載:_____)
	[X]情報:	[X]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[X]年齢、[]生年月日、[X]性別、[X]既往歴、[X]併存疾患、[X]外来日・入院日・退院日、[X]臨床検査値、[X]放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[X]臨床所見・経過（予後追跡データを含む）、[X]ゲノムデータ、[X]看護記録、[]その他(具体的に記載:_____)
試料・情報を 利用する者の 範囲	当センター研究責任者	神奈川県立がんセンター内分泌外科 益戸 功彦 045-520-2222（神奈川県立がんセンター代表）
	共同研究機関および責任者	なし
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	神奈川県立がんセンター内分泌外科 益戸 功彦 045-520-2222（神奈川県立がんセンター代表） 利用停止のお申し出は 2027 年 12 月 31 日までにお問い合わせいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります	